

地層は淡い黄色をしています。部分的に赤味を帯びた所もあり、層理は発達せず塊状に固まった粗粒の凝灰岩質砂層です。

このがけの地層は、会津一帯が海底であった新第三紀中新世の中期に海底に固まった地層です。

## 横 田 小 学 校

### 1、地層の観察

#### (1) 観察する場所

にはんぎ橋のたもとより細道を下りた  
岸辺の岩盤

#### (2) 川に下る途中、岸辺の岩盤全体を観察する。

① 足もとに注意し、岸辺の川床に見られる岩盤をスケッチする。

② 川はせき止められ、ダムとなっているので、満水期には川床の岩盤は水面から没するため、岩盤の表面には泥がついており、観察しにくい。地層の色、層理や葉理が見られるかどうか、気付いたことを書き入れる。

③ 対岸を遠望しよう。岩質の違いから層理を観察できる。

この川沿いの小高い山は川床の岩盤に見られる、俗に大谷石のような感じ  
でより硬い、葉理のあまり見られない地層が固まっていることを理解  
する。

